



医療法人

高岡みなみハートセンター みなみの杜病院

**新体制で、狭心症・心筋梗塞など、
循環器疾患への高度な医療を実践**

受付時間：月～金 8:30～11:30
14:00～17:00

土 8:30～11:30
休診日：土午後・日・祝
〒939-1104
富山県高岡市戸出町3-14-24
TEL 0766-63-1113
FAX 0766-63-3151
<http://takaoka-minami.nss-h.com/>



**経験豊富な医師が集い
救急にも迅速な治療が可能**

高岡みなみハートセンターみなみの杜病院は、2019年5月に改称した現名称の通り、高度な心疾患医療による地域への貢献を目指している。

この方針は19年4月に着任した平瀬裕章理事長の掲げたものだ。平瀬理事長は心カテーテル治療の経験豊富な医師として地域で知られてきた。とりわけ冠動脈内のプラークを削る「※DCA（方向性冠動脈粥種切除術）」は全国でも有数の実績で、石灰化病変にも対応できる技術を持つ。「分岐部病変の治療や、抗血小板薬を服用できない人にはDCAが有用です。ステントを用い



理事長 平瀬 裕章

ひらせ・ひろあき●1993年、金沢大学医学部医学科卒業。高岡市民病院循環器内科主任部長を経て現職。日本循環器学会認定循環器専門医、日本心臓血管治療インターベンション学会理事。

た治療も行いますが、DCAができることで、安易に留置せず、患者さんの将来を考えて治療を選択できます。こうした自身の経験のもと心臓病に特化した病院を作り、より患者に貢献することを志したので。

同院には平瀬理事長を慕ってついできた医師を含め、カテーテル治療の経験ある医師4名が在籍。他のスタッフも多職種間で互いをフォローし合えるだけの経験・知識を持つ。この人員体制のもと、循環器診療に特化することで治療の迅速さが実現できたという。救急搬送では必ず循環器内科医が最初に診て、即座に治療が可能。外来診療でも複数回に分けることなく、必要な検査をまとめて提供できる。

現体制になってわずか2年で同院の存在は地域住民や開業医に浸透し、心カテーテル治療では年330例（19年1～12月）と、地域でも有数の症例数にまで増加した。他にも末梢動脈疾患80

例、透析のシャントへのカテーテル治療200例など、全身の血管への治療を実践している。それに甘んじず、さらなる発展を目指すという。19年にはカテーテル室を改築し、血管造影装置も新調。冠動脈検査に特化した最新CTも導入したことで、心疾患の早期発見につながる心臓ドックを開始した。最終的には心臓手術も開始し、心疾患治療すべてを高い水準で提供できる病院にしたいと、平瀬理事長は話す。「胸が痛ければこの病院」と皆に言って頂ける病院を目指しています」

取材／鈴木健太



冠動脈に特化した最新CTで診断の精度が向上

※カテーテルを用いた専用器具で、冠動脈の狭窄の原因となるプラークを直接削り取る治療法。ステントを留置せず治療できる利点を持つ。